

製品名: HNF-3 α / β / γ (アセチル Lys264/253/211) ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab06218

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	アセチル化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	FOXA1/FOXA2/FOXA3 FOXA1; HNF3A; TCF3A; Hepatocyte nuclear factor 3-alpha; HNF-3-alpha; HNF-3A; Forkhead box protein A1; Transcription factor 3A; TCF-3A; FOXA2; HNF3B; TCF3B; Hepatocyte nuclear
別名	factor 3-beta; HNF-3-beta; HNF-3B;Forkhead box protein A2; Transcription factor 3B; TCF-3B; FOXA3; HNF3G; TCF3G; Hepatocyte nuclear factor 3-gamma; HNF-3-gamma; HNF-3G; Fork head-related protein FKH H3; Forkhead box protein A3; Transcription factor 3G; TCF-3G
遺伝子 ID	3169.0
SwissProt ID	P55317
免疫原	抗血清は、ヒト FOXA1 由来の Lys265 のアセチル化部位周辺の合成アセチルペプチドに対して産

生された。アミノ酸範囲: 231-280

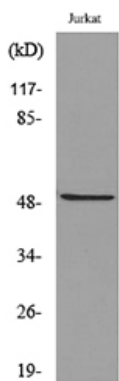
背景

この遺伝子は、フォークヘッド型 DNA 結合タンパク質の一種をコードしています。これらの肝細胞核因子は、アルブミンやトランスサイレチンといった肝臓特異的転写産物の転写活性化因子であり、クロマチンとも相互作用します。マウスにおける類似のファミリーメンバーは、代謝調節や膵臓および肝臓の分化に関与しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: AFP、アルブミン、チロシンアミノトランスフェラーゼ、PEPCK など、多くの肝臓遺伝子の転写活性化因子です。これらの遺伝子のシス作用性調節領域と相互作用します。、オンライン情報: 肝細胞核因子エントリ、類似性: フォークヘッド型 DNA 結合ドメインを 1 つ含みます。、

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

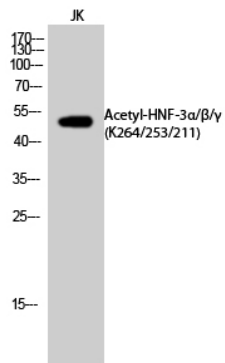
画像データ



FOXA1 (アセチル-Lys265) 抗体を用いた Jurkat 細胞溶解液のウエスタンブロット分析。



アセチル HNF-3α/β/γ (K264/253/211) ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞のウエスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



アセチル HNF-3α/β/γ (K264/253/211) ポリクローナル抗体を用いた JK 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。